



9月1日現在の中山	
世帯数	1,346
人口	3,596
【問い合わせ】	
中山公民館報編集委員会	
58-5822	

地元ゆかりの民話

第2回 泉小太郎祭り

ンパーが日頃の練習の成果を
発揮し『小太郎太鼓』を元気に
演奏した。中山民踊保存会は、
伝統の『豆たたき』と小太郎ゆ
かりの『扇甚句』を披露した。
また今年も、近隣の住民も気
軽に参加し楽しめるようにと、
庄内地区公民館で活動してい
る庄内ゆめコーラスが初参加
した。『野に咲く花のように』
など3曲を歌い祭典を盛り上
げた。

9月1日(日)に
弘法山古墳公園で、
第2回『泉小太郎
祭り』(泉小
太郎祭り実
行委員会主
催)が行わ
れた。
当日は雨
が心配され
る中、中山
住民や近隣
の住民など
200名ほ
どが訪れた。
幕開けに、
中山太鼓連
の小学生又



児童文学者の高田充也さん
が『泉小太郎』について語る
と、初めて訪れた参加者は熱
心に耳を
傾けてい
た。その
後に、中
山小学校
生徒有志
とてると
るの会の
皆さんに
よる『泉
小太郎』
紙芝居が
上演され
た。この
日の為に

児童らは、てるてるの会の指
導を受け練習を重ねてきた。
上演に流す挿入歌は6年生全
員で合唱をした2曲を録音し
たものを使つた。
最後は、『ふるさと』を参加
者も含め全員で合唱し締めく
くつた。
今年の『泉小太郎祭り』で
は、地区内で実行委員を募つ
たところ、意欲のある数名の
応募者があつた。これは従来

にない新しい動きで『泉小太
郎祭り』だけで無く、今後の地
域づくり等へも力を発揮して
もらうことが期待される。
実行委員長の福地啓一さん
は、「松本地域に伝わる『泉小
太郎』を周知し次代に伝承し
てもらい、小太郎のような他
を思いやる心、優しい心を地
域で育ていきたい」と話して
いる。今後さらに地域全体の
活性化につなげていって欲し
いものである。

水辺ウォーキング ぜひな深めた

昨年国の重要文化財に指定
された『牛伏川砂防堰堤群見
学会』が7月21日(町内公民館
長会・子ども会育成会
主催)小林征也さん
(中山史跡愛護会)の
案内で開催され、猛暑
の中50名余が参加し、
牛伏川上流のフラン
ス式階段工を中心、
歴史や仕組みについ
て学ぶ初めての見学
会が開かれた。

昔から『暴れ牛伏』
と呼ばれ、歴史上数々
の災害にみまわれてきた牛伏
川の砂防堰堤工事は、明治か
ら大正時代に100余年をか
けて大規模に行なわれた。



このフランス式階段流路
は、多くの谷から流れ下つて
きた水の勢いを抑え、落差を
確保するための特殊な形状を
取り入れた工法で施工されて
おり、全国的に注目されてい
る貴重な防災遺産である。

奥の鉢伏山
に連なる尾
根まで、両
側の堰堤や
水路、山止
めの空石積
みは延々と
続いており、
この広大な
地域での大
規模な砂防工事は困難を極め
たと推測され、工事関係者の
方々の並々ならぬ苦勞を偲ぶ
事ができる。

上下141メートルの間に
19段の水叩きが作られ、水の
勢いを押さえ、『空石積み』と
呼ばれる施工方法で、流れ落
ちる水との造形美が周りの景
色と調和し、絶妙な景観をか
もし出しており、絶景ポイン
トとなっている。
100余年前一個一個の石
を人力だけで積み上げて作ら
れたもので、今でも水漏れは
全く無いとの説明に、先人の
技術力には感服するばかりで
ある。

さらに谷
奥の鉢伏山
に連なる尾
根まで、両
側の堰堤や
水路、山止
めの空石積
みは延々と
続いており、
この広大な
地域での大
規模な砂防工事は困難を極め
たと推測され、工事関係者の
方々の並々ならぬ苦勞を偲ぶ
事ができる。

現在では、キャンプ場等も整
備され周囲の自然と一体と
なった構造美で、訪れる人も多
く、憩いの場所となっている。
参加者は流れる汗を拭きな
がら、木立の日陰で涼を取り、
さわやかな水音とすがすがし
い風景の中、熱心に説明を聞
き、1時間余りの水辺ウォーキ
ングの散策を満喫していた。
キャンプ場でのバーベ
キュー大会では、小学生から
大人まで、地元の新鮮な生野
菜・肉をおいしくいただき、和
気あいあいと会話もはずみ、
世代交流も深まっていた。
祖父母と参加した高学年の
男の子は、「近くにこんなところ
があるなんて知らなかつた。
また遊びにくるよ」と、友
達と素足で川に入り、水遊び
に夢中になっている姿も見ら
れた。
今回初めての試みとなる企
画であったが、地域の大勢の
方々が積極的に参加し、心身の
リフレッシュと、交流を図って
行く事で絆が生まれ、今後の中
山における『地域づくり』と、活
性化に大きく貢献していくの
ではないかと考える。
このような全域の人々が参
加する交流行事を、今後も数
多く取り入れ実施していただ
くことを願い、今後の活躍に
期待するものである。

中山の移り代わり (28)

最終回

中山村 Ⅱ

松本市に合併

した。十一月二十三日

に松本市へ合併した。十八年、神田が松本市へ分

と保有地一ヘクタール以外は耕作者に開放しました。二十二年四月、村長が公選

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

昭和十二年に日中戦争が、十六年に太平洋戦争が始まりました。広大な国土と国民を持つ支那と巨大な工業力を持つアメリカとの戦争で、中山では九十三人の方々が戦死しました。

終わりにあたって



平成20年当時の小林公民館長から「中山の移り代わり」を書いてくれと言われて書き始め、長くなること6年にわたり28回、長々お読みくださり有難うございました。どうか中山村が終わりました。

中山が「歴史の里」と言われるのは、大正時代の中山小学校の考古室から、現在の史跡愛護会へと、多くの先人たちの遺跡顕彰・歴史調査と記録の結果です。この「中山の移り

代わり」も、これらの先人たちの残した記録や、その後の調査をもとに書きました。最近では史跡愛護会会員の小林前公民館長が愛知県在住の埴原氏を探し出しました。

鳥獣害対策の現状について

「中山の移り代わり」28回分、横書き仮製本で実費頒布してはどうでしょうか。中島経夫

中山有畜獣害対策協議会 会長 小林弘也

地区の皆様には、日頃の鳥獣害対策へのご協力に感謝致します。中山地区では、平成22年に県下初の地区住民自らの施工による全長13.5kmに及ぶ防

護柵を設置し、以降、維持管理や定期巡回を町会単位でお願いし実施しております。柵設置後も一部鹿が柵を回り込む等して侵入し、農作物を荒らしている現状にあり、平成23年には協議会の会員9名が『わな猟免許』を取得し、猟友会に加入して駆除を

はじめました。その後、国の規制緩和により狩猟免許の無い人も補助者となる制度が出来、総勢40名程で捕獲隊を結成、昨年度は50

と保有地一ヘクタール以外は耕作者に開放しました。二十二年四月、村長が公選制となり、新学制が始まりました。中山中学校は小規模のため、寿地区から山辺地区にかけての組合立としたものでは共に南北分村の危険があり、単独で中学校を作り、二十六年校舎が落成しました。

二十三年、千石開拓が始まり、三十八町歩余が開墾されました。同年、松本市で「大松本構想」計画が始まり、二十八年に具体化して、二十九年四月、中山村は松本市に合併して「松本市大字中山」となりました。



除幕式の様子

戦争を伝えていくため

松本市により戦争遺跡記念碑が中山文庫敷地内に建立され、8月1日(木)に除幕式が行われた。昭和20年初め頃から終戦まで建設が進められていた中山地区の軍事工場についての説明や当時の写真が刻まれている。



秋の味覚といえば、秋刀魚を思い浮かべる人も多いですね。『秋刀魚が出ると按摩が引込む』ということわざがあります。秋刀魚は、体の調子を整えてくれるビタミンや、血液をさらさらにしてくれる不飽和脂肪酸を多く含むため、血液の流れが良くなります。この様に秋刀魚は私達の体にとって非常に良いそうです。

多くの成果が得られました。防護柵で有害獣による被害を防ぎながら、個体数を減らし、大切な農地や森林を守る事に

(T・K)